





## 活動プログラム (アクティビティマニュアル)

1. 磐梯山登山① (八方台登山口往復コース)

(活動時間の目安: 8時間)



間の目安:8時間)					8	
山頂の	高さが 1800m で	スタート地	点の八方台登	山口の	標高が 120	00m なの
で、山頂との標高差は約 600m の高低差が少ないコースです。晴天時には山						
頂から猪	苗代湖が一望でき	きます。				
集団で自然体験活動をすることで生きる力や自己有用感を育むとともに、						
心身の健	康を図ります。					
対象	小学5年生~		人数	制限に	はないが 1	クラスに
				1名の	)引率者が	必要
時期	6月~9月		実施判断	雷注意	意報時は中.	止
交流の氦	家(貸出物品)	団体	(準備物)		個人(準備	莆物)
□熊鈴		□救急セ	ット		デイパック	
□地図・	登山マップ	□登山計ⅰ	画書		長袖・長ズ	ボン
□方位磁	金十	□非常時	用簡易トイレ		帽子・水筒	(水10
□トラン	シーバー (研	□非常用	水・非常食	ٳ	以上)	
修指導	員用)	□携帯電	話・時計		雨具	
989 2 C J	11140	1312	*M25	-1222 -1580	1916 2	1457 11.
	山、か 集身象 期 で 頭 は り は か は か は か は か は か は か と が の 頂 猪 で 健 の 頂 猪 で 健 の 原 4 を の で は か と 酸 と 導	山頂の高さが 1800mでで、山頂との標高差は約頂から猪苗代湖が一望で集団で自然体験活動を心身の健康を図ります。 対象 小学5年生~ 時期 6月~9月 交流の家(貸出物品) □熊鈴 □地図・登山マップ □方位磁針 □トランシーバー(研修指導員用)	山頂の高さが 1800m でスタート地で、山頂との標高差は約 600m の高低頂から猪苗代湖が一望できます。 集団で自然体験活動をすることで心身の健康を図ります。 対象 小学 5 年生~ 時期 6月~9月 交流の家(貸出物品) 団体 □救急セ□地図・登山マップ□方位磁針□トランシーバー(研 □非常用に修指導員用) □携帯電話	山頂の高さが 1800m でスタート地点の八方台登で、山頂との標高差は約 600m の高低差が少ない。頂から猪苗代湖が一望できます。 集団で自然体験活動をすることで生きる力や自心身の健康を図ります。 対象 小学 5 年生~ 人数 時期 6月~9月 実施判断 交流の家(貸出物品) 団体(準備物) □熊鈴 □牧急セット □地図・登山マップ □登山計画書 □非常時用簡易トイレ □トランシーバー(研修指導員用) □携帯電話・時計	山頂の高さが 1800m でスタート地点の八方台登山口ので、山頂との標高差は約 600m の高低差が少ないコースで頂から猪苗代湖が一望できます。 集団で自然体験活動をすることで生きる力や自己有用心身の健康を図ります。 対象 小学5年生~ 人数 制限に1名の時期 6月~9月 実施判断 雷注意交流の家(貸出物品) 団体(準備物) 団教急セット ロジー・カーン・シーバー(研 世別・登山マップ 日本・野田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・	山頂の高さが 1800m でスタート地点の八方台登山口の標高が 120で、山頂との標高差は約 600m の高低差が少ないコースです。晴天 頂から猪苗代湖が一望できます。 集団で自然体験活動をすることで生きる力や自己有用感を育むと心身の健康を図ります。 対象 小学5年生~ 人数 制限はないが1 1名の引率者が、

引率者の		・研修指導員との事前打合せと当日の実施判断・中断の決定を				
役割		します。				
	団体責任者	・交流の家に下記4地点で連絡を行います。				
		(登山前の八方台登山口・弘法清水小屋・頂上・下山後の				
		八方台登山口)				
		・出発前と活動中及び到着後の人数の把握と健康状態の確認を				
	グループ責任	します。				
	者	・研修指導員からの指示や注意事項などを参加者に伝えます。				
		(学校では担任が一般的)				
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。				
	_lader for	交流の家又は登山口で緊急車両を用意して待機し、途中下				
	本部係	山者対応に備えます。				
研修指導	・活動当日の	朝に交流の家で団体責任者と打合せをします。				
員の役割	・登山口で参	加者に安全面についての説明をします。				
	・活動中は道案内や危険個所で状況に応じた指示を出します。					
	・下山後に交流の家で団体責任者と振り返りをします。					
交流の家	・物品の貸出しや回収を行います。					
職員の役	・団体責任者からの連絡を受け取ります。					
割	・当日の朝の打合せ、下山後の振り返りの進行を行います。					
引率者確	【施設入所前】					
認事項	・登山ルート	と時間配分の確認をします。登山日の活動をゆとりのある計				
	画にしてく	ださい。				
	・入所 40 日	前までに指導員依頼 (活動日程表の提出) をします。目安は1				
	クラスに対	して指導員1名となります。				
	・登山当日ま	でに日程・登山形態(安全管理・留意事項欄参照)を計画し				
	て登山計画	i書(届)を2部作成します。(登山ポスト又は猪苗代警察署用				
	に1部、交	流の家用に1部)				
	・事前に役割	分担や参加者への指導(安全指導、装備確認)などを行いま				
	す。					
	・活動日の天	候等により登山を中止する場合は登山前日の 16 時までに交流				
	の家に連絡	をします。				
	【施設入所後					
	・交流の家に	登山計画書(届)を1部提出します。				
	・登山時の持	ち物や実施判断についての確認をします。食堂で弁当を注文し				
	た場合は、	受け渡し場所や時刻も確認します。				

## 引率者確 認事項

### 【登山当日~登山口到着】

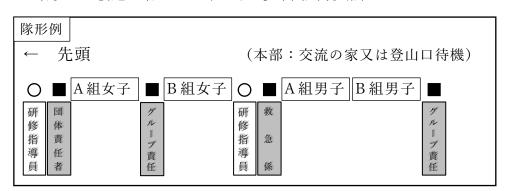
- ・団体責任者は研修指導員と7時45分に事務室にて実施の判断をします。 登山判断基準は下記表のとおりです。実施決定後に打合せを行います。
- ・判断基準に該当する天候の場合は、安全管理上登山の実施を中止として います。また安全確保のために登山の途中で下山する場合があります。

, o s., = > , = = , , =	71 2		Ф ", д , , о.		
警報または	大雨	強風	雷		
注意報	大雪	暴風	火山		
降水量	5 mm/h 以上				
風 速	10m/s 以上				
	著しく気象の変化がある				
その他	利用者からの中止の申し入れ				
	て中止と判断した	ことき			

- ・団体と研修指導員は団体の車両で八方台登山口に移動します。
- ・登山口到着後にグループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。
- ・グループ責任者は参加者の態勢を整え、研修指導員の説明(主に安全面について)を参加者と一緒に聞きます。

#### 【登山中】

・登山隊形については、引率者の配置は先頭に1名(団体責任者)~中継 1名以上~後尾1名としてください。(下記例参照)



- ・グループ責任者は参加者のコースの逸脱、石を蹴る、走る、研修指導員 の説明を聞かないなどの危険行為がないように指導してください
- ・グループ責任者は休憩時などに参加者の点呼と健康観察を行います。また、研修指導員と適宜相談をして安全に活動できるように参加者を指導します。
- ・グループ責任者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。
- ・グループ責任者はペースが遅くなった参加者がいた場合に研修指導員と 団体責任者へ状況を伝えて、指示を仰ぎます。
- ・団体責任者は傷病者が発生した場合に救急係に応急手当の指示を出し、 研修指導員と相談して登山継続か下山するかを判断します。下山する場合は本部係とグループ責任者に指示を出すなど傷病者対応をします。また、天候の急変その他の事情が発生した場合は研修指導員と相談して、

	途中下山の判断と指示を出します。
	【下山後】
	・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認をします。
	・グループ責任者は貸出物品を事務室に返却します。
	・団体責任者は事務室で研修指導員と振り返りを行います。
-	
その他	・研修指導員の都合によりご希望の人数が手配できない場合があります。
留意事項	・参加者は植物や樹木などを採集せずに、ごみは持ち帰ってください。
	・参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対
	策(虫よけスプレー、長袖長ズボン)をしてください。

2. 磐梯山登山② (猪苗代スキー場~八方台登山口コース) (活動時間の目安:約7時間)







		的 ( 時間)						
概要	夏季登山リフトを利用することにより、標高 1100mまで約 30 分で進むこ							
	とができます。リフト降り場から猪苗代湖を一望できるとともに、道中では							
	岩肌がむき出しになった磐梯山の裏側を眺めることもできます。							
	往路(登り)と復路(下り)で見る景色が異なるため、登山の楽しさが増							
	加します	•						
ねらい	集団で	自然体験活動をで	することで	生きる力や自	己有	有用感	を育むと	ともに、
	心身の健康を図ります。							
条件	対象	小学5年生~		人数	20	名以」	上で実施	可能
					1	クラス	:に1名の	り引率者
					が	必要		
	時期	7月~10月		実施判断	雷	注意報	最時は中」	Ŀ
準備物	交流の領	家(貸出物品)	団体	(準備物)			人(準備	
, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	□熊鈴		□救急セ				<u>゚ヹヹヹヹヹ゚゚゙゚゚゙゚゚゚゚゚゚ヹ゚ヹヹヹヹ゚゚゙゚゙゙ヹヹヹヹヹヹヹヹヹ</u>	
		登山マップ	□登山計				由・長ズ:	ボン
	□ □ 方位磁		,	□□ 用簡易トイレ			子、水筒	
		シーバー(研		水・非常食		以上		(,,, = -
	_ · ·							
登山							`	
ルート	修指導員用) □携帯電話・時計 □雨具  ②第二リフト降車口 ③沼ノ平 (休憩箇所) ④弘法清水 (休憩箇所・山小屋と簡易トイレ有り) ⑤磐梯山山頂 (休憩箇所)							
	⑥中の湯	(火山性ガスがと	出ているの	で長居しない	)			
	⑦八方台	3登山口						

引率者の		・研修指導員との事前打合せと当日の実施判断・中断の決定を				
役割		します。				
	団体責任者	・交流の家に下記4地点で連絡を行います。				
		(猪苗代スキー場・弘法清水小屋・頂上・下山後の八方台				
		登山口)				
		・出発前と活動中及び到着後の人数の把握と健康状態の確認を				
	グループ	します。				
	責任者	・研修指導員からの指示や注意事項などを参加者に伝えます。				
		(学校では担任が一般的)				
		救急セットの携帯と応急手当をします。				
	12/20/1	交流の家又は登山口で緊急車両を用意して待機し、途中下				
	本部係	山者対応に備えます。				
加收拉道	- 江新北口の					
研修指導		朝に交流の家で団体責任者と打合せをします。				
員の役割		かれて安全面についての説明をします。				
		「案内や危険個所で状況に応じた指示を出します。				
		※流の家で団体責任者と振り返りをします。				
交流の家	・物品の貸出しや回収を行います。					
職員の役	・団体責任者からの連絡を受け取ります。					
割	・当日の朝の	)打合せ、下山後の振り返りの進行を行います。				
引率者確	【施設入所前	ĵ]				
認事項	・登山ルートと時間配分の確認をします。登山日の活動をゆとりのある計					
	画にしてください。					
	・入所 40 日前までに指導員依頼(活動日程表の提出)をします。目安は1					
	クラスに対して指導員1名となります。					
	・登山当日までに日程・登山形態(安全管理・留意事項欄参照)を計画し					
	て登山計画	i書(届)を2部作成します。(登山ポスト又は猪苗代警察署用				
	に1部、交	<b>ぶ</b> 流の家用に1部)				
	· 事前に役割	分担や参加者への指導(安全指導、装備確認)などを行いま				
	す。					
	  ・活動日の天	候等により登山を中止する場合は登山前日の 16 時までに交流				
	の家に連絡					
	【施設入所後					
		登山計画書(届)を1部提出します。				
		ち物や実施判断についての確認をします。食堂で弁当を注文し				
	た場合は、	受け渡し場所や時刻も確認します。				

## 引率者確 認事項

#### 【登山当日~登山口到着】

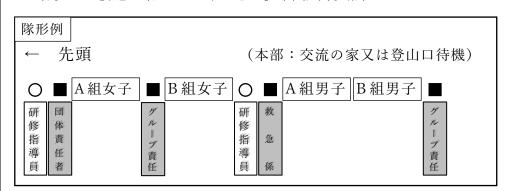
- ・団体責任者は研修指導員と7時45分に事務室にて実施の判断をします。 登山判断基準は下記表のとおりです。実施決定後に打合せを行います。
- ・判断基準に該当する天候の場合は、安全管理上登山の実施を中止として います。また安全確保のために登山の途中で下山する場合があります。

警報または	大雨	強風	雷		
注意報	大雪	暴風	火山		
降水量	5 mm/h 以上				
風速	10m/s 以上				
	著しく気象の変化がある				
その他	利用者からの中止の申し入れ				
	交流の家として中止と判断したとき				

- ・団体と研修指導員は団体の車両で八方台登山口に移動します。
- ・登山口到着後にグループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。
- ・グループ責任者は参加者の態勢を整え、研修指導員の説明(主に安全面について)を参加者と一緒に聞きます。

#### 【登山中】

・登山隊形については、引率者の配置は先頭に1名(団体責任者)~中継 1名以上~後尾1名としてください。(下記例参照)



- ・グループ責任者は参加者のコースの逸脱、石を蹴る、走る、研修指導員 の説明を聞かないなどの危険行為がないように指導してください
- ・グループ責任者は休憩時などに参加者の点呼と健康観察を行います。また、研修指導員と適宜相談をして安全に活動できるように参加者を指導します。
- ・グループ責任者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。
- ・グループ責任者はペースが遅くなった参加者がいた場合に研修指導員と 団体責任者へ状況を伝えて、指示を仰ぎます。
- ・団体責任者は傷病者が発生した場合に救急係に応急手当の指示を出し、 研修指導員と相談して登山継続か下山するかを判断します。下山する場合は本部係とグループ責任者に指示を出すなど傷病者対応をします。また、天候の急変その他の事情が発生した場合は研修指導員と相談して、

	途中下山の判断と指示を出します。
	【下山後】 ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認をします。 ・グループ責任者は貸出物品を事務室に返却します。 ・団体責任者は事務室で研修指導員と振り返りを行います。
その他留意事項	<ul> <li>研修指導員の都合によりご希望の人数が手配できない場合があります。</li> <li>参加者は植物や樹木などを採集せずに、ごみは持ち帰ってください。</li> <li>参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策(虫よけスプレー、長袖長ズボン)をしてください。</li> </ul>

## 3. 磐梯山登山③ (猪苗代スキー場往復コース) (活動時間の日安・約4時間)



(活動時間	の目安:約	勺4時間)			· V ·		00
概要	標高 142	7m の磐梯山二合	目を目指す	コースです。	夏季登山	」リフトを	利用する
	ことにより、標高 1100mまで 20 分、リフト降り場から磐梯山二合目まで約						
	1時間で進むことができます。また、下りでもリフトを利用することにより、						
	疲れた体	を癒しながら目の	の前に広が	る猪苗代湖を	楽しむこ	ことができ	ます。
ねらい	集団で自	然体験活動をする	ることで生	きる力や自己	有用感	を育むとと	もに、心
	身の健康	を図ります。					
条件	対象	小学5年生~		人数	制限は	ないが 1:	クラスに
					1名の	引率者が必	<b>公要</b>
	時期	山開き後~9月		実施判断	雷注意	報時は中山	Ŀ
準備物	交流の家	(貸出物品)	団体(準位	備物)	個人	、(準備物)	)
	□熊鈴		□救急セ	ット	ロラ	デイバック	
	□地図・	登山マップ	□登山計Ⅰ	画書	口長	長袖・長ズ:	ボン
	□方位磁	金十	□非常時月	用簡易トイレ		]子、水筒	(水10以
	ロトラン	シーバー(研修	□非常用差	水・非常食	上)		
	指導員用	)	□携帯電	話・時計	□雨	·  其	
登山		提 Arms		The same of the sa	A C		AND NO.
ルート			了四人是		1007		
				The state of the s	Con The Control of th		1000 S
		1410		赤雄山			ファミリー
			1434	4		1000	Maria Co
	NAME OF THE PARTY	113 VIII 3					910
		YYY/		3 #			是不
	葡萄	1111	加盟	T T			TO FE
		13年13	NE			Wally !	
	文艺	11 1/3	1	0			
		1 11		AME IN COLUMN			
			HT A		1158		
		天鏡台	-820			and a second	
	本地図は	、地理院地図を加筆・値	修正して作成し	ました。			
	①第一リ	フト乗車口					
	②第二リ	フト乗車口(ト	イレ有り)				
		フト降車口					
	④磐梯山	二合目(休憩箇月	折)				

	<u> </u>				
引率者の		・研修指導員との事前打合せと当日の実施判断・中断の決定を			
役割	団体責任者	します。			
		・交流の家に下記3地点で連絡を行います。			
		(猪苗代スキー場・頂上・下山後の猪苗代スキー場)			
		・出発前と活動中及び到着後の人数の把握と健康状態の確認			
	グループ	をします。			
	責任者	・研修指導員からの指示や注意事項などを参加者に伝えます。			
		(学校では担任が一般的)			
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。			
	   本部係	交流の家又は登山口で緊急車両を用意して待機し、途中下山者			
	十 日 以	対応に備えます。			
研修指導	<ul><li>活動当日の</li></ul>	朝に交流の家で団体責任者と打合せをします。			
員の役割	・登山口で参	加者に安全面についての説明をします。			
	・活動中は道	[案内や危険個所で状況に応じた指示を出します。			
	・下山後に交流の家で団体責任者と振り返りをします。				
交流の家	・物品の貸出や回収を行います。				
職員の役	・団体責任者からの連絡を受け取ります。				
割	・当日の朝の打合せ、下山後の振り返りの進行を行います。				
引率者確	【施設入所前	ī <b>]</b>			
認事項	・登山ルートと時間配分の確認をします。登山日の活動をゆとりのある計				
	画にしてく	ださい。			
	・入所 40 日	前までに指導員依頼(活動日程表の提出)をします。目安は1			
	クラスに対し	て指導員1名となります。			
	・登山当日ま	でに日程・登山形態(安全管理・留意事項欄参照)を計画して			
	登山計画書	(届)を2部作成します。(登山ポスト又は猪苗代警察署用に1			
	部、交流の家	明に1部)			
	・事前に役割	分担や参加者への指導 (安全指導、装備確認) などを行います。			
	・活動日の天	候等により登山を中止する場合は登山前日の 16 時までに交流			
	の家に連絡を	・します。			
	【施設入所後	2]			
	・交流の家に	登山計画書(届)を1部提出します。			
	・登山時の持	ち物や実施判断についての確認をします。食堂で弁当を注文し			
	た場合は、	受け渡し場所や時刻も確認します。			

# 引率者確 認事項

### 【登山当日~登山口到着】

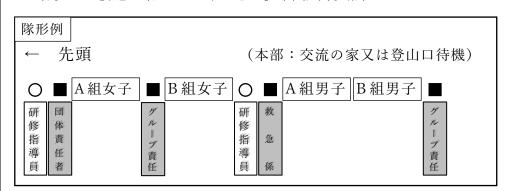
- ・団体責任者は研修指導員と7時45分に事務室にて実施の判断をします。 登山判断基準は下記表のとおりです。実施決定後に打合せを行います。
- ・判断基準に該当する天候の場合は、安全管理上登山の実施を中止として います。また安全確保のために登山の途中で下山する場合があります。

, o s., = > , = = , , =	71 2		Ф ", д , , о.		
警報または	大雨	強風	雷		
注意報	大雪	暴風	火山		
降水量	5 mm/h 以上				
風 速	10m/s 以上				
	著しく気象の変化がある				
その他	利用者からの中止の申し入れ				
	交流の家として	て中止と判断した	とき		

- ・団体と研修指導員は団体の車両で八方台登山口に移動します。
- ・登山口到着後にグループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。
- ・グループ責任者は参加者の態勢を整え、研修指導員の説明(主に安全面について)を参加者と一緒に聞きます。

#### 【登山中】

・登山隊形については、引率者の配置は先頭に1名(団体責任者)~中継 1名以上~後尾1名としてください。(下記例参照)



- ・グループ責任者は参加者のコースの逸脱、石を蹴る、走る、研修指導員 の説明を聞かないなどの危険行為がないように指導してください
- ・グループ責任者は休憩時などに参加者の点呼と健康観察を行います。また、研修指導員と適宜相談をして安全に活動できるように参加者を指導します。
- ・グループ責任者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。
- ・グループ責任者はペースが遅くなった参加者がいた場合に研修指導員と 団体責任者へ状況を伝えて、指示を仰ぎます。
- ・団体責任者は傷病者が発生した場合に救急係に応急手当の指示を出し、 研修指導員と相談して登山継続か下山するかを判断します。下山する場合は本部係とグループ責任者に指示を出すなど傷病者対応をします。また、天候の急変その他の事情が発生した場合は研修指導員と相談して、

	途中下山の判断と指示を出します。
	【下山後】 ・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認をします。 ・グループ責任者は貸出物品を事務室に返却します。 ・団体責任者は事務室で研修指導員と振り返りを行います。
その他留意事項	<ul> <li>研修指導員の都合によりご希望の人数が手配できない場合があります。</li> <li>・参加者は植物や樹木などを採集せずに、ごみは持ち帰ってください。</li> <li>・参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策(虫よけスプレー、長袖長ズボン)をしてください。</li> </ul>